

第 22 回定時株主総会
「事業報告の主な内容、および、連結計算書類の概要」

事業の経過及び成果



エンターテインメント業界

＜国内モバイルゲーム市場＞

厳しい市場環境が続く中、アジア勢のゲームが存在感を見せ、国内メーカーによる中国・韓国発のタイトルの配信権獲得や共同開発といった取り組みが活発化

＜国内家庭用ゲーム市場＞

ハード販売が落ち着きを見せる中、大型タイトルの発売やダウンロード販売の大幅な増加により、ソフト市場は堅調に推移

＜アミューズメント市場＞

プライズゲームが引き続き好調を維持し、わずかながら市場規模が前年を上回る

＜音楽映像市場＞

アニメの配信市場が拡大する一方、パッケージ市場の縮小傾向が続き、国内外の番組販売や配信など、収益の多極化を模索する動きが進む
ライブエンターテインメント市場は2.5次元舞台の盛況が続く中、国内の深刻な会場不足等により競争が激化

それでは、株式会社マーベラス第 22 期事業報告の主な内容についてご報告させていただきます。

当社グループが属するエンターテインメント業界では、国内のモバイルゲーム市場におきましては、厳しい市場環境が続く中、アジア勢のゲームが存在感を見せ、国内メーカーによる中国・韓国発のタイトルの配信権獲得や共同開発といった取り組みが活発となりました。

国内家庭用ゲーム市場におきましては、ハード販売が落ち着きを見せる中で、大型タイトルの発売やダウンロード販売の大幅な増加により、ソフト市場は堅調に推移いたしました。

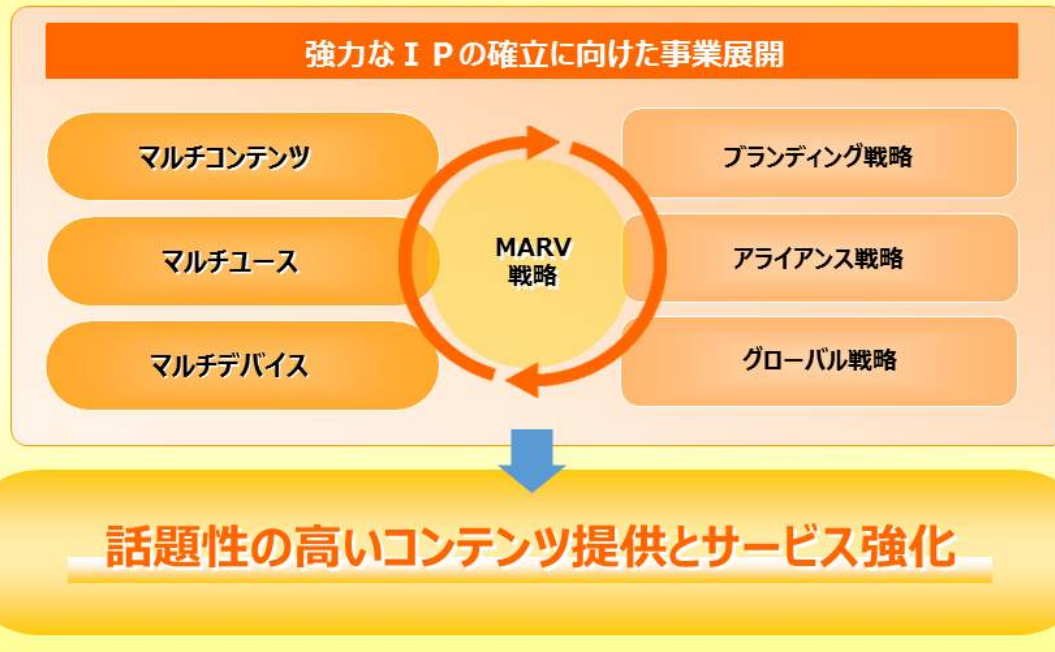
また、アミューズメント市場におきましては、プライズゲームが引き続き好調を維持し、わずかながら市場規模が前年を上回りました。

音楽映像市場におきましては、アニメの配信市場が拡大する一方で、パッケージ市場の縮小傾向が続き、国内外の番組販売や配信など、収益の多極化を模索する動きが進みました。

ライブエンターテインメント市場におきましては、2.5 次元舞台の盛況が続く中、国内の深刻な会場不足等により競争が激化しました。

事業の経過及び成果

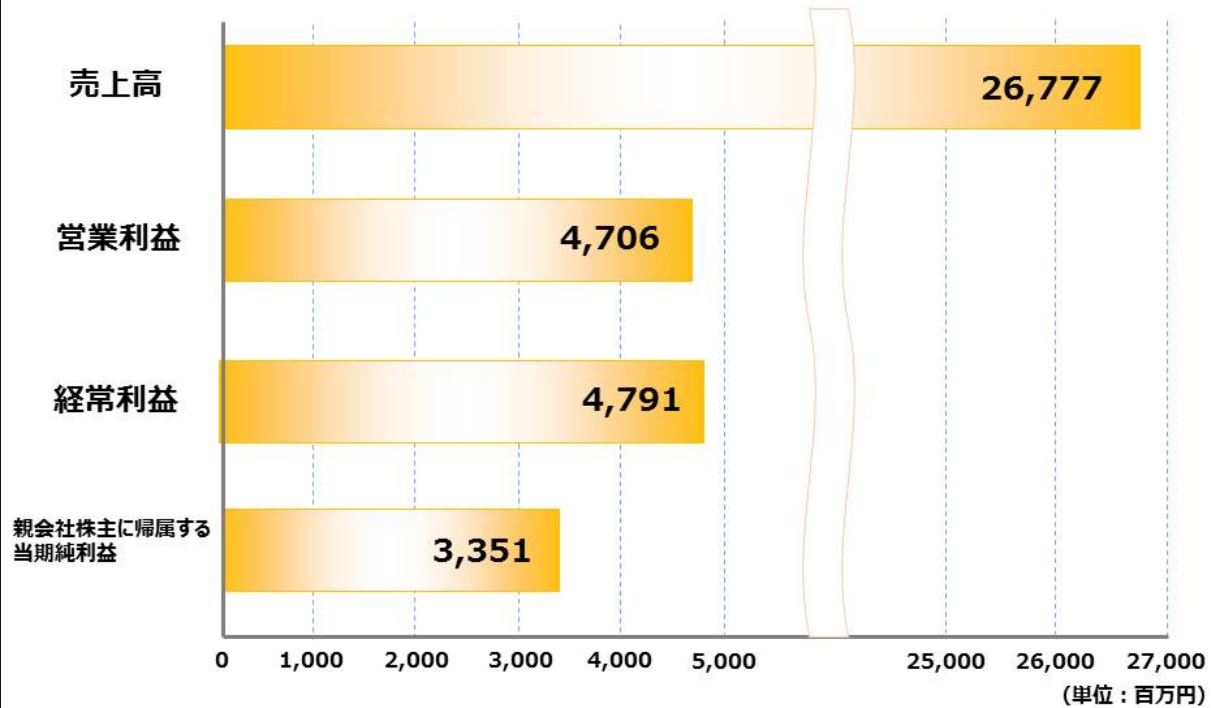
「多彩なエンターテインメントコンテンツ」を「あらゆる事業領域」において
「様々なデバイス」向けに展開する『総合エンターテインメント企業』



このような状況の下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を基軸とした総合エンターテインメント企業として、強力なIPの確立に向けたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

事業の経過及び成果

■ 当期の業績（連結）



この結果、当連結会計年度の業績は、売上高 267 億 7,700 万円、営業利益 47 億 600 万円、経常利益 47 億 9,100 万円、親会社株主に帰属する当期純利益 33 億 5,100 万円となりました。

事業の経過及び成果 - オンライン事業



剣と魔法のログレス いにしえの女神
(ネイティブアプリ)

©Marvelous Inc., Aiming Inc.



シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK
(ネイティブアプリ)

©Marvelous Inc.,
©HONEY PARADE GAMES Inc.

それでは次に、各事業の状況をご説明いたします。

まず始めに、オンライン事業についてご説明いたします。

当事業におきましては、「剣と魔法のログレス いにしえの女神」をはじめとする主力の長期運営タイトルの売上高が減少しましたが、前期にリリースしたタイトルの中で、「シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK」が好調に推移いたしました。

しかしながら、他の新作タイトルは十分な収益貢献ができず、一部タイトルについては他社への運営移管やサービスの中止を行いました。

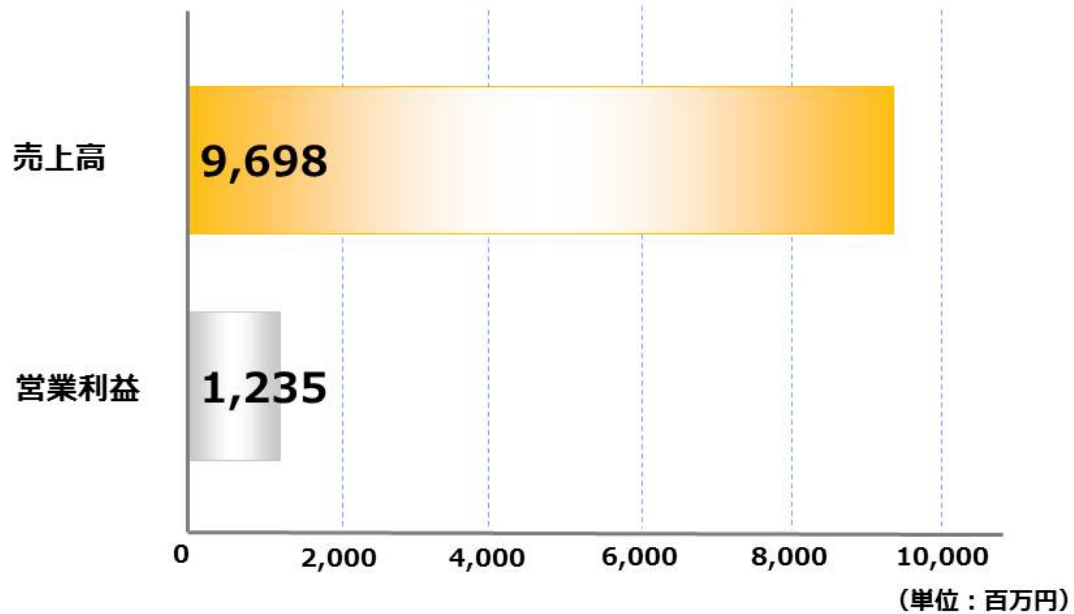
また、開発途中のタイトルについても、将来収益の見直しに伴い一部タイトルの開発を中止し、開発費用を一括償却いたしました。

一方で、アジア地域を中心とした海外展開を積極的に進めてきた結果、中国・韓国・台湾等の企業とのライセンス契約がまとまり収益に貢献いたしました。

また、第3四半期においては、低迷するオンライン事業の立て直しのため、構造改革に着手するとともに、早期退職優遇制度を実施いたしました。なお、早期退職優遇制度の実施に伴う費用は、特別損失として計上しております。

事業の経過及び成果 - オンライン事業

■ オンライン事業の業績



この結果、オンライン事業の業績は、売上高 96 億 9,800 万円、営業利益 12 億 3,500 万円となりました。

事業の経過及び成果 – コンシューマ事業

■ 国内ゲームソフト販売



Fate/EXTELLA LINK
(フェイト/エクステラ リンク)
(PlayStation®4/PlayStation®Vita
/Nintendo Switch/Windows PC)

©TYPE-MOON ©2018 Marvelous Inc.



リトルドラゴンズカフェ
-ひみつの竜とふしぎな島-
(Nintendo Switch
/PlayStation®4)

©Alays Games Localization Inc / TOYBOX Inc.
Licensed to and published by Marvelous Inc.



PEACH BALL
閃乱カグラ
(Nintendo Switch)

©2018 Marvelous Inc.
/HONEY PARADE GAMES Inc.

続いて、コンシューマ事業についてご説明いたします。

当事業のゲームソフト販売部門におきましては、国内では、「Fate/EXTELLA(フェイト/エクステラ)」シリーズ新作の「Fate/EXTELLA LINK(フェイト/エクステラ リンク)」を2018年6月に、完全新作となる「リトルドラゴンズカフェ -ひみつの竜とふしぎな島-」を同年8月に発売したほか、「閃乱カグラ」シリーズの新作「PEACH BALL 閃乱カグラ」を同年12月に発売いたしました。

事業の経過及び成果 – コンシューマ事業

■ 海外



**SENRAN KAGURA
Reflexions**
(Nintendo Switch)

©2018 Marvelous Inc.
/HONEY PARADE GAMES Inc.
Licensed to and published by
XSEED Games/Marvelous USA, Inc.
and Marvelous Europe Ltd.



**SENRAN KAGURA
Burst Re:Newal**
(PlayStation®4/Windows PC)

©2019 Marvelous Inc.
/HONEY PARADE GAMES Inc.
Licensed to and published by
XSEED Games/Marvelous USA, Inc.
and Marvelous Europe Ltd.



Fate/EXTELLA LINK
(PlayStation®4/PlayStation®Vita
/Nintendo Switch/Windows PC)

©TYPE-MOON
©2019 Marvelous Inc. Licensed to and
published by XSEED Games/Marvelous
USA, Inc. and Marvelous Europe Ltd.

また、北米・欧州においては、前期に国内で発売した「シノビリフレ –SENRAN KAGURA–」海外版を2018年9月に、「閃乱カグラ Burst Re:Newal」海外版を2019年1月に、さらに、「Fate/EXTELLA LINK (フェイト／エクステラ リンク)」海外版も同年3月にリリースいたしました。

加えて、ソフトウェア資産等の売却に伴う一時的な収益が発生いたしました。

しかしながら、一方で、開発中の一部タイトルにおいては、将来収益の見直しを行い、開発費用の一括計上を実施しました。

事業の経過及び成果 – コンシューマ事業

■ アミューズメント



ポケモンガオーレ

© 2019 Pokémon. © 1995-2019 Nintendo/Creatures Inc. / GAME FREAK inc.
Developed by TRi-ARTS and MARU.
ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。



TRYPOD (トライポッド)

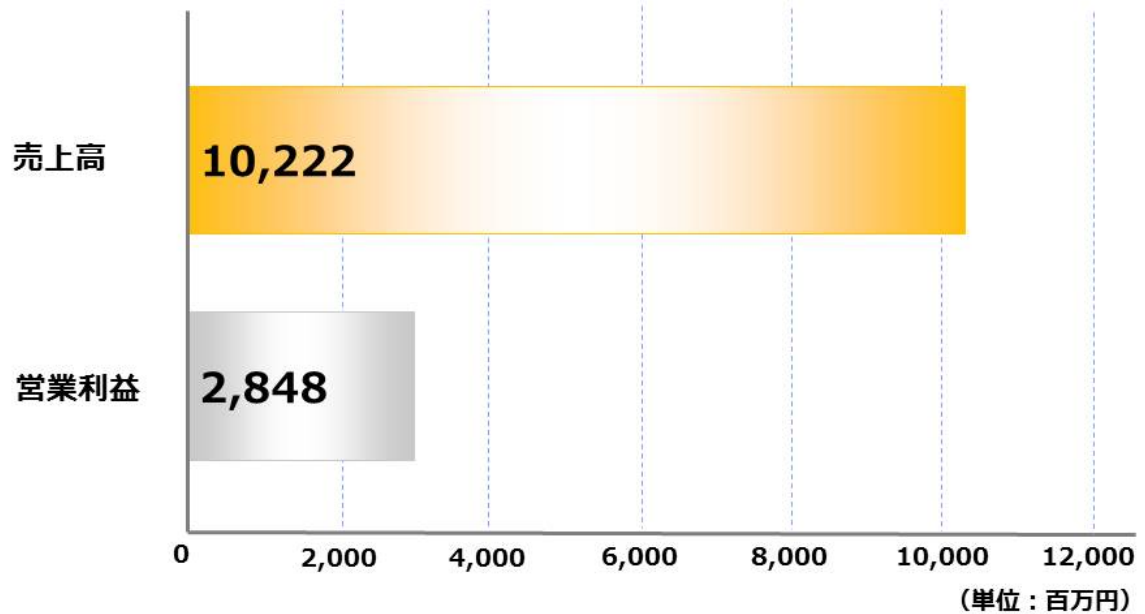
©Marvelous Inc.

アミューズメント部門におきましては、「ポケモンガオーレ」が稼動開始から3年目となる中で、過去最高水準の好調な業績推移となりました。

また、「ポケモントレッタ」の海外展開や、前期に新発売した「TRYPOD(トライポッド)」の国内外での販売も順調に推移いたしました。

事業の経過及び成果 – コンシューマ事業

■ コンシューマ事業の業績



この結果、コンシューマ事業の業績は、売上高 102 億 2,200 万円、営業利益 28 億 4,800 万円となりました。

事業の経過及び成果 – 音楽映像事業

■ 音楽映像制作



『HUGっと！プリキュア』

©ABC-A・東映アニメーション



『東京喰種トーキョーグール:re』

©石田スイ/集英社・史丹佛漫画re製作委員会



『千銃士』

©アニメ「千銃士」製作委員会

『映画HUGっと！プリキュア♡
ふたりはプリキュア オールスターズメモリーズ』

©2018 映画HUGっと！プリキュア製作委員会



『映画刀剣乱舞-継承-』

©2019「映画刀剣乱舞」製作委員会
©2019-2020 DMM GAMES/VRproject

『映画プリキュアミラクルユニバース』

©2019 映画プリキュアミラクルユニバース製作委員会

続いて、音楽映像事業についてご説明いたします。

当事業の音楽映像制作部門におきましては、TVアニメ『HUGっと！プリキュア』等のパッケージ商品化を行ったほか、当社主幹事TVアニメ『東京喰種トーキョーグール:re』を2018年4月より、『千銃士』を同年7月より放送し、それぞれパッケージ商品化を行いました。

また、2018年10月には、TVアニメ『東京喰種トーキョーグール:re』第2期の放送を行ったほか、『映画HUGっと！プリキュア♡ふたりはプリキュア オールスターズメモリーズ』が公開となり、好評を博しました。

さらに、2019年1月に『映画刀剣乱舞』、同年3月には『映画プリキュアミラクルユニバース』が公開となり、こちらも好調な観客動員数となりました。

事業の経過及び成果 – 音楽映像事業

MARVELOUS!

■ ステージ制作



舞台『刀剣乱舞』

© 舞台『刀剣乱舞』製作委員会



ミュージカル『テニスの王子様』

© 許諾 同/集英社・N.A.S・新テニスの王子様プロジェクト
© 許諾 同/集英社・テニス製作委員会



『あんさんぶるスターズ！オン・ステージ』

© 2016 Happy Elements K.K./あんスタ製作委員会

ステージ制作部門におきましては、「舞台『刀剣乱舞』」、「ミュージカル『テニスの王子様』」、「『あんさんぶるスターズ！オン・ステージ』」等、各シリーズの最新公演を実施いたしました。

事業の経過及び成果 – 音楽映像事業

■ ステージ制作



舞台『戦刻ナイトブラッド』

© 2017 Marvelous Inc./KADOKAWA/IDEA FACTORY
© 2018 Marvelous Inc./KADOKAWA/IDEA FACTORY/『戦刻ナイトブラッド』制作委員会



『家庭教師ヒットマンREBORN!』the STAGE

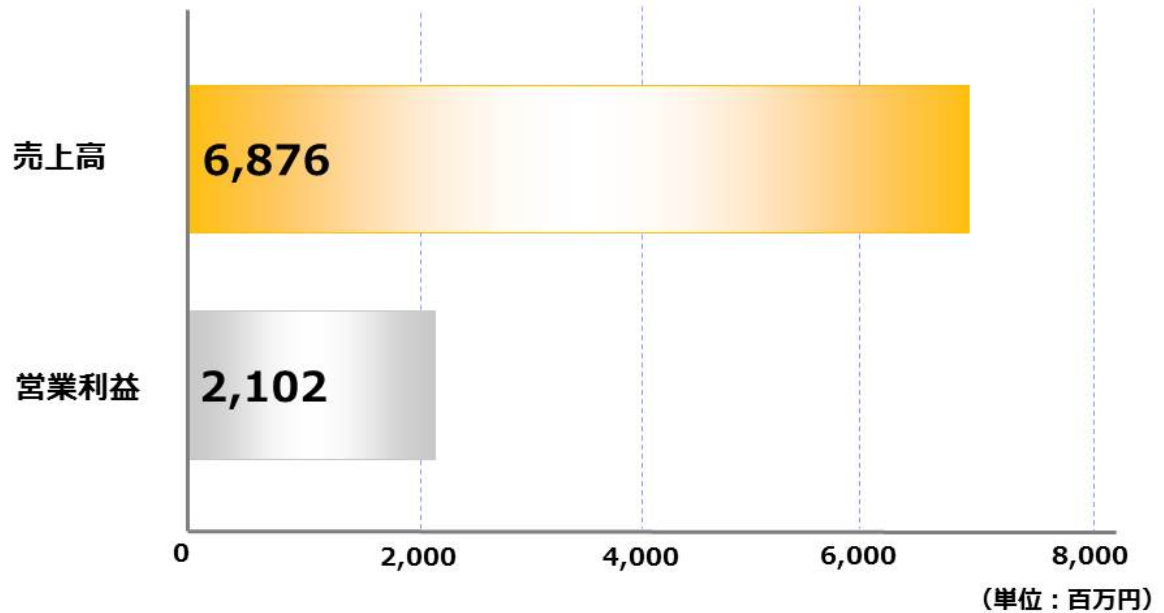
© 天野明/集英社 © 『家庭教師ヒットマンREBORN!』the STAGE制作委員会

本年度の新作といたしましては、「舞台『戦刻ナイトブラッド』」を 2018 年8月より、「『家庭教師ヒットマン REBORN!』the STAGE」を同年9月より公演し、それぞれ好評となりました。

また、各シリーズのパッケージ商品や映像配信等の二次利用も好調に推移いたしました。

事業の経過及び成果 – 音楽映像事業

■ 音楽映像事業の業績



この結果、音楽映像事業の業績は、売上高 68 億 7,600 万円、営業利益 21 億 200 万円となりました。

以上で、「事業の経過及び成果」についてのご報告を終了させていただきます。

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2018年3月末	2019年3月末	前期末比増減
流動資産	21,137	20,407	▲730
固定資産	4,350	5,973	+1,623
資産の部合計	25,488	26,381	+892
流動負債	7,024	6,176	▲848
固定負債	50	114	+64
負債の部合計	7,074	6,290	▲784
純資産の部合計	18,414	20,090	+1,676

それでは次に、連結計算書類についてご説明いたします。

連結貸借対照表につきましては、資産の部は、流動資産が204億700万円、固定資産が59億7,300万円、合計263億8,100万円となりました。

負債の部は、流動負債が61億7,600万円、固定負債が1億1,400万円、合計62億9,000万円となりました。

純資産の部は、合計200億9,000万円となりました。

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	前期比増減
売上高	25,291	26,777	1,485
営業利益	5,147	4,706	▲440
経常利益	5,105	4,791	▲314
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,513	3,351	▲162

連結損益計算書につきましては、売上高 267 億 7,700 万円、営業利益 47 億 600 万円、経常利益 47 億 9,100 万円、親会社株主に帰属する当期純利益 33 億 5,100 万円、となりました。

なお、その他の事項につきましては、招集ご通知に記載のとおりでございます。

以上で、事業報告の主な内容および連結計算書類の概要についてのご報告を終了させていただきます。

以上

※本資料は、第 22 回定時株主総会におきまして使用いたしました、ビデオナレーションによるプレゼンテーション資料を書き起こしたものです。